

琳派展 23

涼扇琳派の 絵と美

Fan paintings of Rimpa
and the beauty of coolness

2023. 6.10 | 土 |
8.20 | 日 |

一部展示替えあり

開館時間 | 午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで) 休館日 | 毎週月曜日(祝日の場合、翌火曜日)
入館料 | 一般1,400円 学生1,100円 主催 | 細見美術館 京都新聞
会場 | 細見美術館 京都市左京区岡崎最勝寺町6-3 TEL 075-752-5555 <http://www.emuseum.or.jp>
急激な状況の変化により、止むを得ず会期・営業日時等を変更する場合があります。詳しくはホームページをご覧ください。

25th
ANNIVERSARY

上: 酒井抱一 扇面貼交屏風より「鳥瓜」「夕顔」 江戸後期 左下: 中村芳中 扇面画帖より「立葵」 江戸後期
右下: 神坂雪佳 秋草図扇子 大正時代 *すべて細見美術館蔵

細見美術館は開館25周年を迎えました



琳派の 扇絵と 涼の美

琳派の創始者、俵屋宗達（生没年不詳、江戸前期に活躍）は扇絵などを制作する「絵屋」を営んでいました。「扇絵」は言わば宗達工房の主力商品であり、その独創的な意匠は後に屏風などの大画面に明快な画風を展開する原点ともなりました。

〔扇絵〕や〔団扇絵〕は、尾形光琳、中村芳中、酒井抱一、鈴木其一、神坂雪佳ら宗達以降の絵師たちも積極的に手掛け、デザイン性の高い身近な調度として親しまれました。一方、琳派では朝顔など夏秋の草花図も多く描かれ、爽やかな画面は凌ぎ難い夏の暮らしに一風の涼味をもたらしました。琳派展の第23弾となる本展では、細見コレクションを中心に、扇絵・団扇絵や夏の草花図や秋草図を選び、琳派による涼の美を展覧します。



6



7



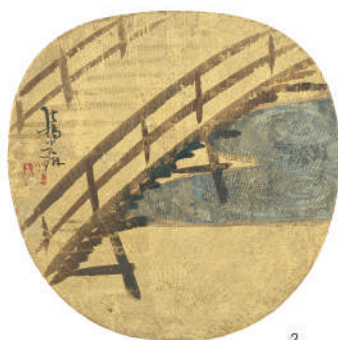
5



1



3



2



4

1. 酒井抱一 扇面貼交屏風(右隻) 江戸後期 2. 尾形光琳 宇治橋図団扇 江戸中期 3. 本阿弥光悦書 俵屋宗達下絵 萩薄下絵和歌書扇面 江戸前期 4. 神坂雪佳 伊勢物語図扇面「河内越」 大正末～昭和初期 5. 俵屋宗理 朝顔図 江戸後期 6. 鈴木其一 糸瓜に朝顔図 江戸後期 7. 渡辺始興 簾に秋月図 江戸中期 *すべて細見美術館蔵



交通のご案内

- ・市バス「東山二条・岡崎公園口」下車、徒歩3分
 - ・市バス「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車、徒歩5分
 - ・地下鉄東西線「東山」駅下車、徒歩10分
- ご来館には公共交通機関をご利用ください。

- ご入館および施設のご利用にあたっては、当館の新型コロナウイルス感染拡大防止対策にご協力をお願いいたします。
- 急激な状況の変化により、止むを得ず会期・営業日時等を変更する場合があります。詳しくはホームページをご覧ください。

細見美術館



京都新聞ニュースカフェ

細見美術館 開館25周年記念 特別講演会

「琳派と若冲—細見美術館の25年」

講師 山下裕二氏(明治学院大学教授)、細見良行(当館館長)

日時: 8月20日(日) 13:30~15:00

会場: 京都新聞文化ホール(京都新聞ビル7階)

定員: 200名(先着順・事前申込制)

参加料: 2,000円(料金は当日お支払いください)
開館25周年記念展1のチケット1枚付き

● 詳細・お申込み(5月29日受付開始)は特設サイトへ ↑



次回展
予告

開館25周年記念展 I 2023年9月5日(火)~11月5日(日)